

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	情報システム管理論2		
英文授業科目名	Advanced Theory for Quality and Reliability 2		
開講年度	2008年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	情報システム学研究科-社会知能情報学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	社会知能情報学専攻		
担当教官名	由良 憲二		
居室	西5-501		

公開E-Mail	授業関連Webページ
yura@se.uec.ac.jp	

<p>【講義の狙い，目標】</p> <p>(a) 講義の狙い：生産システムを設計・計画・管理するに当って3つの観点、「生産ストラテジ」、「生産スケジューリング」、「生産環境計画」を取り上げ、情報の重要性和最適化手法について検討する。「生産ストラテジ」では、市場・製品・製造・物流システムに対する方策を議論する。「生産スケジューリング」では、時間的流れの中で、オペレーション（生産に関連する諸活動）とマンパワー（生産従事者の勤務体制）の計画問題を数理計画問題として検討する。そして、「生産環境計画」では生産に伴う環境負荷を最小限に抑え、地球環境問題の解決に資する生産システムの諸側面に関する問題を議論する。</p> <p>(b) 目標： 1) 状況に応じた生産ストラテジを考案して発表し、議論できる。 2) スケジューリング問題への数理的アプローチを活用できる。 3) 生産環境負荷削減に資する方策を考案して発表し、議論できる。</p>

<p>【内容】</p> <p>(a) 授業内容： 【第1回～第5回】 (1) 市場、(2) 製品、(3) 製造、(4) 物流という4分野の生産ストラテジを議論する。 【第6回～第9回】 (1) オペレーションスケジューリングと(2) マンパワースケジューリングについて解法を説明し、それぞれの課題に対する発表を受け、議論する。 【第10回～第14回】 (1) 環境影響評価、(2) 環境マネジメント、(3) 循環型生産システムについて現状を説明し、それぞれの問題点に対する発表を受け、議論する。 【第15回】 期末筆記試験</p> <p>(b) 進め方： 授業は、最初に教員が説明を行い、次週に参加者から発表を受け、議論する。第6回～第9回においては、教員の説明後に演習も行う。</p>

電気通信大学 平成20年度シラバス

【教科書，参考書】

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布する。

【予備知識】

「経営（システム）工学」、「生産管理」並びに「オペレーションズ・リサーチ」における基本的な知識を修得していることが望ましい。

【演習】

内容のところで記しましたように、この授業では学生に課題を与えて発表をしてもらいます。また、数理的解法を説明する第6回～第9回においては、教員の説明後に、演習も行う。

【成績評価方法及び評価基準】

(a) 成績評価方法：
期末試験の成績を70点満点、レポートを15点満点、出席回数・授業態度を15点満点として、これらを合計した総合点で成績を評価する。

(b) 評価基準：
総合点80点以上が「優」、70点以上80点未満が「良」、60点以上70点未満が「可」、60点未満は「不可」とする。

【その他】

本講義を履修する学生には、受動的に授業を聞くのではなく、取り上げる項目について自発的に調査・検討を行い、授業では積極的に発言することを希望する。